



◆◆◆ 国際通貨研究所メールマガジン（第 53 号 2016/8/9 発行）

◆◆ <<http://www.iima.or.jp/>>



＼1. 理事長 行天豊雄 コラム／

危険な進路

<<http://www.iima.or.jp/Docs/merumaga/2016/20160809gyoten.pdf>>

日本の経済政策の方向が何やら不安になってきた。「景気対策」やら「金融緩和」の叫び声が異常に囂しく聞えるのである。そもそも世界中が低成長期で日本経済だけが…

＼2. リサーチアンドプライシングテクノロジー株式会社／

代表取締役 倉都康行 コラム

現代資本市場への危機感

<<http://www.iima.or.jp/Docs/merumaga/2016/20160809kuratsu.pdf>>

私事で恐縮だが、高校や大学時代の仲間と会う機会が年々増えて昔話に花が咲くようになると、自分が金融業界で仕事を始めた当時のことを懐かしく思い出す時間も増える…

■ホームページ 「IIMA の目」

短編コラム「IIMA の目」を、ホームページ最上部にて毎週初更新掲載しています。是非ご覧ください。

<<http://www.iima.or.jp/research/column/index.html>>

1. 「安定した GDP データの裏側、中国経済の減速と待たれる供給側構造改革」梅原直樹
2. 「日本の戦後復興とオリンピック開催を支えた世界銀行」中村明

■IIMA Global Market Volatility Index・購買力平価グラフの更新

<<http://www.iima.or.jp/research/ppp/index.html>>

《掲載内容》

○IIMA Global Market Volatility Index

（グローバルな金融・資本市場のリスク度を表す指数）

○購買力平価グラフ

（ドル円）（ユーロドル）（ユーロ円）

1. 「ギリシャ経済の現状と展望 ～政府債務は持続可能か?～」 山口綾子
<http://www.iima.or.jp/Docs/newsletter/2016/NL2016No_15_j.pdf>
今年5月ギリシャ向け金融支援を巡る交渉で合意が成立した。ユーロ・ソブリン危機の発端となったギリシャは3次にわたる支援を受けたが、いまだ出口がみえない。同国と他の被支援国との明暗を分けたものは何か。同国の財政は持続可能なのかを分析。
2. 「五輪後のブラジル経済の展望」 森川央
<http://www.iima.or.jp/Docs/newsletter/2016/NL2016No_14_j.pdf>
ブラジルの構造改革を阻むのは小党乱立の政治状況である。大統領の指導力は限られ、改革の推進は難しい。短期的には回復も見られるが、ブラジルが本格的な回復に至るシナリオはなかなか描けない。
3. 「資金循環表からみる中国の金融」 山口綾子
<http://www.iima.or.jp/Docs/topics/2016/289_j.pdf>
中国の資金循環を中国人民銀行のデータをもとに分析したもの。
4. 「東アジアの協調的発展 ～その展望と課題～」
<http://www.iima.or.jp/Docs/occasional/OP_No32_j.pdf>
2016年2月25日開催の第25回国際金融シンポジウムを纏めた Occasional Paper
5. 「キューバ経済・社会の動向と課題」 森川央
<http://www.iima.or.jp/Docs/newsletter/2016/NL2016No_13_j.pdf>
米国との国交回復で、期待を集めるキューバだが、キューバ政府は経済構造改革を急いでいないため、開放による急成長は考えにくい。また今後高齢化の進行が予想され、長期的な成長力も余り期待できない。

例年より遅い梅雨明け後は暑い日々が続いていますが、いかがお過ごしでしょうか。IIMAでは情報・国際交流活動が続いております。

まず、連続セミナーの第1回として、中国社会科学院の徐奇淵氏をお招きし、経済減速局面にある中国について、改革の今後のあり方をご講義いただきました。

また、JICAから受託した、2週間にわたる公共財政管理・公的債務管理研修が無事終了しました。アジア・アフリカ19か国の財務省の職員23人が参加し、ケーススタディによる自国の分析や専門家による講義を受

講いただきました。月末には米国大学院のインターンシップ生を受け入れ予定です。

IIMA は今後も業務の基盤である調査研究活動に加え、情報・国際交流活動を通じて、日本と諸外国の相互理解・発展に貢献してまいります。

【バックナンバー】

<http://www.iima.or.jp/mailmagazine.html>

【次号】

2016年9月13日配信予定

【メールマガジンの配信停止・配信先変更】

<https://m.entryform.jp/m/iima/>

【各種お問い合わせ】

admin@iima.or.jp

※閲覧には Adobe Reader が必要です。

Adobe Reader のダウンロードはこちらから

→<http://get.adobe.com/jp/reader/>

本メールは配信専用のアドレスからお送りしております。

返信をいただいても当方では受け取ることができません。

◇発行◇

公益財団法人 国際通貨研究所

〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町 1-3-2 三菱東京 UFJ 銀行日本橋別館 12 階

[HP] <http://www.iima.or.jp>

Copyright (C) IIMA All Rights Reserved.